

長根だより

令和2年5月15日

No. 2

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

長根小教職員を誇りに思います

長根小学校長 弓削 善靖

そもそもはじめは春休みまでだった臨時休校が5月いっぱいまで延長され、私も35年間の教員生活の中でも経験したことのない状態が続いています。日々刻々と状況が変化し、昨日判断したことが今日になると変えなければならないこともたくさん経験しました。今は、少しでも子どもたちの毎日が充実するようにできることを積み重ね、再び学校にやってきた子どもたちが、「やっぱり学校は楽しい！」と感じられるように準備することを考えて日々を過ごしています。

普段なら、子どもたちや保護者や地域の皆さんと顔を合わせ、楽しく語らい、元気をいただきながら過ごすのですが、今はそうはいきません。そんな中、いつも私の心の支えになり、私の元気の源になっているのは、長根小の教職員たちです。子どもたちの顔を思い浮かべながら、家庭学習の課題を作る姿、少しでも学習の助けになればと動画作成に励む姿（各小学校独自の動画作成数は、長根小が最も多いです）、汗をかきかき、家庭訪問から帰ってきて子どもたちや保護者と会えたことをとてもうれしそうに話す姿、急な変更に対応し、こちらが期待していた以上の仕事を進める姿。長根小の教職員は本当に素晴らしいです。手前みそではありますが、今の気持ちをぜひ皆さんに聞いていただきたく、勝手ながら文にいたしました。



長根小の教職員たち（全員でなくてすみません）

裏面もお読みください

PTA会長さんからお手紙をいただきました。

小学生のみなさまへ

不安な毎日ですね。いままで当たり前だった「学校で授業を受ける」、「友達とあそぶ」、「家族でお出かけをする」という普通のことが、できなくなっていました。

学校から宿題がたっぷり出ましたね。学校の勉強、「いやいや勉強をさせられている」と思っている人もいるのではないのでしょうか？

勉強は、必ず役に立つかどうかは分かりませんが、いつか役に立つこともあります。

私は英語が大きかったです。何を言っているのか分からないし、発音がうまくできず、先生に注意されて、いつもいやな思いをしていたからです。でも、大人になってから外国の人と話が通じたとき、とても大きな感動がありました。「英語でこんなことができてしまうのだ!」と。そこから英語の世界に引きこまれて勉強を再開しました。もっと外国の人と話がしたくて、たくさん勉強して、ついに外国で仕事をするようになりました。

いやいや勉強していた英語でしたが、「やらされて良かった!」と心から感謝しています。いま苦しい勉強も、ひょっとしたらみんなが大人になってから役に立って、みんなを助けてくれるかもしれませんよ。

新型コロナウイルスがおさまったら、「友達と遊ぶこと」、「外で運動すること」、「家族でお出かけをすること」、そして「学校での生活」など、当たり前だった毎日を、思いっきり楽しみましょう!



颯爽と現れ、颯爽と刈っていかれました

学校は休校中でも、雑草は伸びていきます。今年も、第1クラブの皆さんが、「そろそろ1回刈っておきましょう」と学校へ集まってくださり、第1回の草刈りをしていただきました。

今回は草刈りだけでなく、水がうまく流れない溝も掃除してくださったばかりか、「次回はもっとちゃんと流れるようにする!」と力強いお言葉もいただきました。

草刈りの後の草運びは、大変な重労働です。ねこSAPOさんと本校の若い教員たちも一緒に作業させていただきました。作業後にコーヒーをお持ちしたところ、自前でポットもご用意いただいていた、大変申し訳なく思いました。

集合写真は、一瞬だけ集まってもらいましたが、皆さんソーシャルディスタンスに気を付けて作業しておられました。久しぶりに元気な皆さんと会えてとてもうれしかったです。ありがとうございました。



第1クラブのみなさんとねこSAPOさん、本校教職員

